

目指す児童像 『自分で考え、よりよい判断ができる子ども』

ごあいさつ

このたびの異動により本野小学校から4月1日付で小栗小学校に着任しました校長の橋口亨（はしぐち とおる）と申します。校長歴4年目を迎えます。学校での学びが日常に、ひいては子どもたちの未来につながっていくよう努めて参ります。本校教育に係るご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和6年度のスタートにあたって

令和6年度が始まり、早一週間です。学校では1学期の始業式を終え、学校としての1年間をスタートさせました。

さて、今年度の学校の方向性を以下のとおりお知らせいたします。詳しい学校経営方針は、本校ホームページに掲載していますので、見ていただければ幸いです。

■学校教育目標

「自他を大切にし、耐性と学力を身に付け、みんなと協働できる子どもの育成」

- ・子どもたちが将来にわたって必要な社会性と学力の充実・向上に努めます。
- ・目指す児童像として「自分で考え、より良い判断ができる」を掲げ、変化の激しい社会を生き抜く力の具現化に学校生活全体を通して努めます。

■時代の流れに沿った学校の働き方改革

- ・各種取組を精査し、効率的な業務推進を行い、子どもたちと向き合う時間を増やします。
- ・今後、「学校だより」は、安心安全メールへの配信及びホームページ掲載とし、原則として紙での配付は行いません。ご了承ください。



ホームページ二次元コード⇒

始業式より

始業式に子どもたちに次のような話をしました。

- 学校は大人になるための力をつける練習の場であること
- 練習をする中ではうまくいかなかったり、失敗したりすることもあること
- 「おおきなこころで」「ぐんぐんのびる」「りっぱなかんがえをもつ」を目標に、それぞれの具体的な取組を考えていくことが大切だということ
- 1年間や1学期の目標をしっかりと立て、年度末に自分の成長を実感できること

